

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第572号（平成27年3月25日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. ホームページの情報を更新しました
2. 広報部会の次回開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. リサイクルポートの動き：④徳山下松港「スーパーエコポート」
2. 港湾分科会第8回事業評価部会が4事業を新規採択評価
3. 那覇空港の滑走路増設事業で、埋立造成工事を公告

=====

1. ホームページの情報を更新しました

1月・2月の活動を中心にホームページの会員専用情報を更新しました。

下記 URL にてご確認ください。

<http://www.rppc.jp/index.html>

（情報が更新されない場合は、F5 キーを押下してください）

【広報部会・事務局】

.....

2. 広報部会の次回開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成27年3月26日（木） 場所：みなと総研3階会議室

10:00～11:30

【事務局】

=====

1. リサイクルポートの動き：④徳山下松港「スーパーエコポート」

山口県は環境政策に熱心な近隣自治体と連携し、瀬戸内海静脈物流システム構想を検討している。同県は徳山下松港、宇部港などの背後にわが国有数の化学コンビナート企業が多数立地しており、石炭取扱量も多い。両港は国土交通省から石炭取扱を対象とする国際バルク戦略港湾に選定されており、徳山下松港に整備する大水深公共岸壁で海外から超大型の石炭船を受入れ、水島港や北九州港、大分港等などの主要需要地に2～3次配送する検討を進めている。静脈物流構想は、徳山下松港から需要地の拠点港に二次揚炭した際、その帰り船に石炭灰等の循環資源を積み込み、徳山下松港や宇部港のセメント工場などで

リサイクル材として活用しようとするもの。県ではこの構想を「スーパーエコポート」と銘うち、北九州市など環境政策を重点化している自治体と協力しあって、瀬戸内海の環境、リサイクル資源活用に貢献したい考え。

山口県はこれまでも循環資源システムの取組には積極的で、過去には経産省や中電技術コンサルタント、井本商運などと連携し瀬戸内静脈物流輸送の社会実験を行った実績があるほか、県独自に港湾施設の使用許可基準を設け、循環資源物流を支援する取組も行っている。

【港湾空港タイムス】

2. 港湾分科会第8回事業評価部会が4事業を新規採択評価

国土交通省港湾局は3月10日、交通政策審議会港湾分科会第8回事業評価部会を開催した。茨城港常陸那珂港区国際物流ターミナル整備事業、名古屋港ふ頭再編改良事業、広島港ふ頭再編改良事業、境港ふ頭再編改良事業の4事業について評価審議を行い、いずれも新規採択が適当であると答申した。

27年度事業採択候補の選定にあたって港湾局では、政府が進めている『経済財政運営と改革の基本方針2014（アベノミクス効果を全国に波及させることによる地域産業の活性化）』等に対応し、わが国最大の雇用の担い手で、広範な関連産業を有して裾野の広い自動車産業が地域の基幹産業の競争力強化に繋がるとして、同分野の国際物流ターミナルふ頭再編事業を新規採択候補に挙げていた。

【港湾空港タイムス】

3. 那覇空港の滑走路増設事業で、埋立造成工事を公告

那覇空港の滑走路増設事業で、いよいよ埋立造成工事がスタートすることになった。沖縄開発建設部では、3月10日付で初弾となる第6工区を対象とする埋立工事を公告したほか、他の工区も護岸工事の進捗を待って順次埋立造成に入っていく方針。最初に造成に入る第6工区は現空港から沖側滑走路に接続するアクセス誘導路の一部。同工事の開札は5月27日、工期は28年3月末。

同滑走路増設事業は沖側の外周護岸築造からスタートしており、現在は順次海面上に捨石が姿を見せつつある。また内側の外周護岸も27年度から築造が始まることになっている。

同空港の用地造成事業は2段階方式で実施。最初は外周護岸が締め切りになった段階で第1次の埋立を実施。その後に計画天端であるDL+5～6mまで護岸の嵩上げを行い、第2段階として必要高さまで最終の埋立を行う。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一（株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####